

# 『問題演習 基本七法 2019』

---

(D・Y・40 代・法科大学院生)

基本七法はいうまでもなく司法試験の共通試験科目ですが、それを1冊にまとめ、各科目の最重要事項に絞って解説している本書はとても学習効率が高いです。

私は少し考えるところがあり、40歳を過ぎてから法科大学院既修者コースに入学しましたが、本書はもちろん若くてフレッシュな10代～20代の法学部生の方にもピッタリです。

これから既修者コース合格を狙う人、予備試験合格を目指す人、そして法科大学院入試に合格後(未修者でも既修者でも)入学前準備として基本七法の重要事項をおさらい(あるいは予習)しておきたい人、本書はいずれにも対応出来る内容の本だと思います。

「法学には外国語学習のような面がある。単語や文法の知識はそれを使って話したり書いたりすることで真に身に付くように、論述式答案を書くことにより本当に法律が分かるようになる」という話を聞いたことがあります。教科書や講義で教わる法学の知識を定着させるためには問題演習が一番の特効薬です。

教科書は理解出来るが論述式答案が書けない人や法科大学院も選択肢の1つに入れている人には、七科目が1冊で分かるコスパ最高の本書を強くお勧めいたします。

『法学教室』2020年5月号(No.476)掲載「Reader's Voice」より